

# 2009 年植林作業報告 速報

(モンゴル国立大学演習林植林)



以下のように、植林作業を実施したことを報告します。

## ・植林作業実施概況

植林実施日	2009 年 5 月 30～31 日		
植林場所	モンゴル国立大学演習林 (中央県バットスンブル村ウドゥレグ町トスガルティンアム)		
植林地名 本数・面積	緑の募金直轄事業 日・モ友好の森	約 5000 本	約 3ha
	Tri-Wall 社鈴木様ご遺族寄附メモリアル	約 5000 本	約 2ha
樹種	在来種ヨーロッパアカマツ <i>Pinus sylvestris</i> の 2～3 年生苗木		
作業実施 主体	モンゴル国立大学生物学部の教授 7 名、助手 2 名、修士 12 名、学生 80 名が実施した 代表：Dr. バートルビレグ教授 (森林研究学科長) 副代表：Dr. バットフー教授		

## ・植林場所



図 1. 広域図 (2009 年モンゴル国立大学演習林植林地)

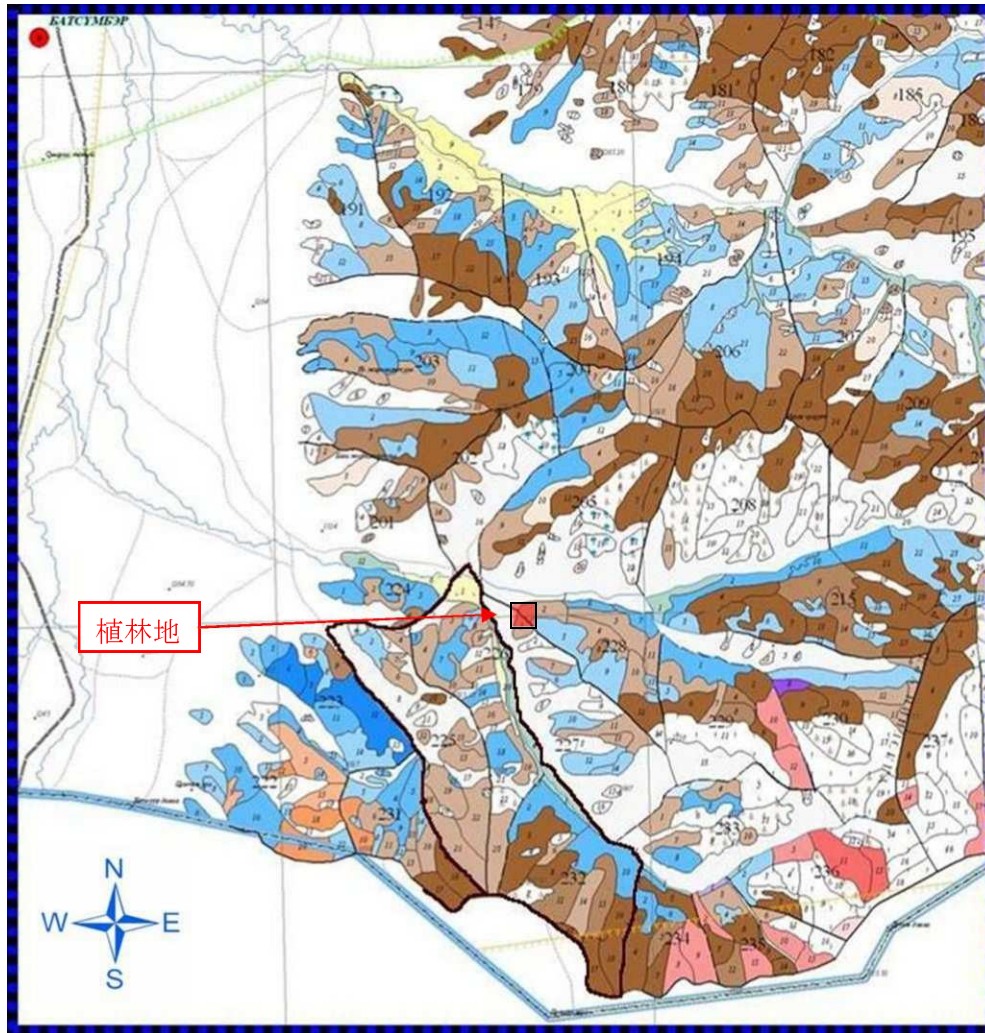


図 2. 位置図（林班図上での位置）

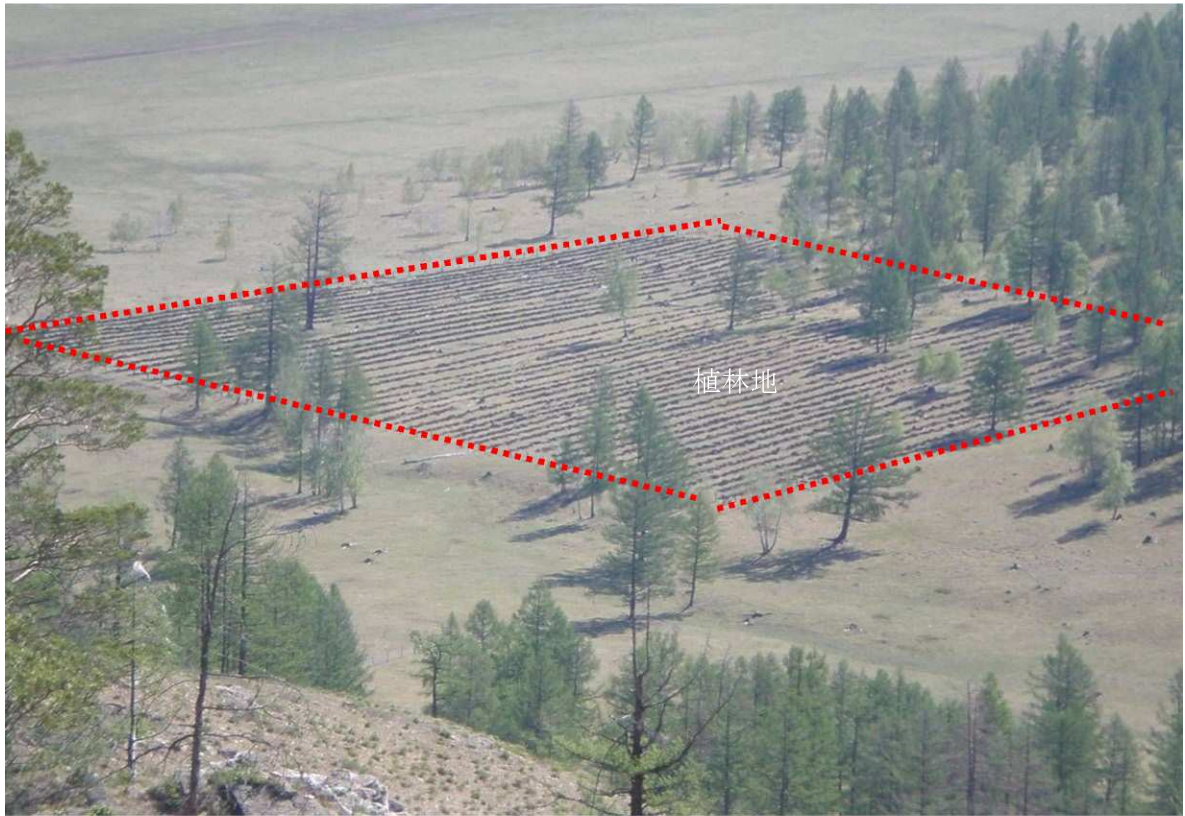
・ 植林地の位置情報（緯度経度）

GPS point	北緯	東経
2009 年 モンゴル国立大学演習林 植林地（代表点）	48° 15' 719"N	106° 50' 955"E

・ 植林地の環境及び植林の目標

- 緩勾配の北斜面→土壤水分が南斜面に比べ多く、植林に適する。
- 森林後退が顕著→放牧及び薪材採取等により森林後退が顕著、放置すれば森林消失の可能性はある
- 実験的に家畜防護柵を設置・植林作業を実施し、アカマツ林を造成し環境の改善を目指す。

・植林地写真



(2009年5月30日撮影)

写真1. 植林地遠景



(2009年5月31日撮影)

写真2. 植林地近景

・ 植林作業写真



写真 3. 家畜防護柵設置



写真 4. 家畜防護柵設置



写真 5. 植林作業



写真 6. 水やり作業

・ 植林後の状況

植林後（2009年5月中旬～6月中旬）はモンゴル全土において約1ヶ月間無降雨で、高温乾燥の天候が続き苗木の大部分が枯れあがる状況が発生した。このため、臨時に5tの水タンクを入手し手作業で水やりを行ったものの苗木の活着率は低いものとなった。

・ 今後の対策

このような天候の異変は年変動が激しく予測不可能であり、今後の対策として、水やりの手法の検討（保水材や灌水資材を導入）し、植え付け直後の水分不足の解消を行うことと、苗木を暗室で保冷保存することより植林を降雨期に実施できるようにすることを検討している。